

授業科目名	公衆衛生看護管理論		担当教員	◎鶴岡 章子、石井 恵里子、 藍野 かおる、秋吉 尚香	科目ナンバリング NP405
選択	開講年次：4年前期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

地域で暮らす様々な人々の生活と健康を守り、地域全体が暮らしやすい地域になるための公衆衛生看護活動に関する管理の理念と方法を学修する。特に、地域ケアの質の確保のために保健師が行う地域づくり活動やソーシャルキャピタルの醸成、施策化、予算管理について理解する。

【達成目標】

1. 公衆衛生看護管理の目的と機能、方法、特徴を理解する。
2. 健康維持増進、地域ケアの質の確保のための地域づくりや施策化、予算管理について理解する。
3. 災害や感染症などの健康危機管理における体制整備、発生時・回復期の対策と保健師の役割を理解する。

【履修条件】

3年次後期までに開講されている保健師教育課程の科目を履修していること。

【授業計画】

[01] 公衆衛生看護管理の目的、機能、方法、特徴	(鶴岡)
[02] 公衆衛生看護管理における人材育成と情報管理	(鶴岡)
[03] 保健医療福祉における施策化とサービスの質評価・調整	(鶴岡)
[04] 地域ケア体制づくりとソーシャルキャピタル醸成における保健師の役割	(石井)
[05] 公衆衛生看護活動における事業と予算管理	(藍野)
[06] 健康危機管理の定義と展開方法	(鶴岡)
[07] わが国の健康危機管理体制における保健師の役割①－災害時	(石井)
[08] わが国の健康危機管理体制における保健師の役割②－感染症発症時	(秋吉)

【教科書】

荒賀直子他(2022). 公衆衛生看護学.jp 第5版(データ更新版)、インターメディカル.
平野かよ子編(2015). 最新保健学講座5 公衆衛生看護管理論、メヂカルフレンド社.

【参考書】

井伊久美子他(2022). 新版保健師業務要覧 第4版、日本看護協会出版会.
標美奈子他(2022). 標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論、医学書院.
厚生労働統計協会(2022). 国民衛生の動向(2022/2023)、厚生労働統計協会.

【評価方法・評価基準】

定期試験70%、課題レポート30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：公衆衛生看護学に関する科目を復習して授業に臨む。教科書の該当箇所を事前に学習しておく(2時間)。

事後学習：各回の授業内容を、教科書および授業時に配布した資料等で復習する(2時間)。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅱ. 根拠に基づいた看護実践能力、Ⅳ. ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目

保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能